

「目黒区男女平等・共同参画センターの見直しについて(素案)」に対する意見募集の実施結果について

1 意見募集実施状況

(1)実施期間 平成25年1月16日から2月1日まで

(2)周知方法

ア 目黒区ホームページ掲載(1月16日)

イ 登録団体へ素案送付

ウ 男女平等・共同参画センター及び人権政策課で素案閲覧

2 意見提出状況

個人11人(30件) 団体6団体(20件) 議会2会派(8件) 合計19(58件)

【参考】目黒区男女平等・共同参画審議会意見(3件)

目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会意見(10件)

3 意見に対する対応区分ごとの内訳

対応区分	内容	件数
1	ご意見等の趣旨を踏まえ、素案を修正します。	1件
2	ご意見等の趣旨は、既に素案で取り上げています。	23件
3	ご意見等の趣旨は、今後の検討・研究課題とします。	7件
4	素案には取り上げていませんが、事業運営の中でご意見等の趣旨を踏まえ努力します。	20件
5	ご意見等の趣旨に沿うことは困難です。	2件
6	その他(1から5のいずれにも該当しない場合)	5件
合計		58件

上記件数に参考意見は含んでいません。

4 検討結果 「意見に対する検討結果等一覧表」のとおり

意見に対する検討結果等一覧表

センターを継続することの是非及びあり方について

通し 番号	意見 区分	意見・要望(要旨)	対応 区分	検討結果(対応策)
1	個人	「センターの継続を含めた見直し」について、センターを取り巻く困難な状況の中、歴史的経過から区民の意識調査に基づく現状を踏まえて「必要」の結論を明確にしたことは、高く評価する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
2	個人	センターの必要性を認め、男女平等・共同参画を進めるための拠点として必要と認めていただいたことに安堵した。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
3	個人	センターは、男女平等・共同参画を推進する拠点施設として必要という結論に達し、現在のセンターが継続されることになったことは、センターで活動する女性団体の一員として、たいへん喜ばしいことである。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
4	個人	センターの設置場所については、改修や移転の必要が生じるまでは、現在の場所で他施設と共有化や有効利用を模索し、効率化を図ればよい。	6	センターの設置場所や運営方法については、今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
5	個人	素案でセンターの存続が打ち出されたことは評価することができる。拠点施設があれば、継続的に目に見える形で男女平等・共同参画を発信することができ、区民も気楽に集うことができる。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
6	個人	会議室や研修室を他施設と共有することには、少し危惧を抱く。「共有化」が今ある施設の縮小につながることは反対である。他団体も利用できることをもっと宣伝して、会議室や研修室の利用の促進をはかることを考えた方がよい。	6	施設の効率的な利用の観点から共有化は有効な手段の一つであると考える。今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
7	個人	「目黒区男女平等・共同参画センターの見直しについて(素案)」について賛同する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
8	個人	センターは区民や他の自治体で既に周知されていることから、現在のセンターの場所で他所管との共有化を図るのが適当である。	6	センターの設置場所については、今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
9	個人	結論のとおり、男女平等・共同参画を推進する場は引き続き必要であることは同感である。センターとしての独立性を保ちながら、会議室及び研修室を他施設と共有化し、関係所管との結びつきを深めつつ、共に施設全体を運営していくことは望ましいのではないかと思う。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。

通し 番号	意見 区分	意見・要望(要旨)	対応 区分	検討結果(対応策)
10	団体	拠点施設の必要性が再確認され継続が決まったこと、実績・課題の評価等前向きに受け止めている。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
11	団体	施設の設置場所については、現在のセンターの諸課題をクリアーすることから始めるべきである。	6	センターの設置場所については、諸課題に対応しながら、今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
12	団体	「目黒区男女平等・共同参画センターの見直しについて(素案)」に賛成する。センターの存続が打ち出されたことは大変喜ばしい。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
13	団体	センターの新たな課題への取組みに大きく期待する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
14	団体	男女平等・共同参画センター見直しの方向性について、センター設立の経緯に立ち戻り、果たして来た役割・実績、区における男女平等・共同参画の現状及びセンターの課題にわたって、検討と検証を重ねた上で、センター継続は必要との結論に至ったことを歓迎する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
15	団体	男女平等・共同参画の拠点施設として、目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例第11条に基づくセンターの充実とこれからの課題に住民とともに着実に取り組むことを強く求める。	2	課題解決のためには、区民、団体、事業者との協働が不可欠であると考えています。今後もセンターの充実と新たな課題に着実に取り組んでまいります。
16	団体	今回厳しい状況の中で、正確で、かつたいへんしっかりと心配りのある「素案」を拝見して、尊敬と感謝の念を深くしている。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
17	団体	少子化・子育て・介護・防災などにも、区民ニーズを掘り起こし、横断的・主体的・協働的な活動を支え、センターはその拠点として機能してほしい。センター活動の活性化につながるなら、他施設との共有化も検討して良いし、他団体や青少年プラザ等との連携は積極的に考えるべきである。	2	センターは従来の情報提供等の機能に加え実践的な活動のための連携・協働、ネットワークの中心的な存在としてさらに重要な役割を果たしていくこととしています。また、多様な団体との連携・協力関係の構築や関係所管との連携に努めていくこととしています。
18	団体	会議室・研修室は空いてない場合が多く、青少年プラザなどを借りているので、共有化はしばらくやめてほしい。住区センターや青少年プラザと交流すれば何とかできるのではないかと。	5	全体的には、会議室・研修室の利用には余力があり、施設の効率的な利用の観点から共有化は有効な手段の一つであると考えます。今後、区有施設見直しの結果を踏まえて検討してまいります。
19	議会	区は使命感を持って、目黒区の男女平等・共同参画センター設置の意義を区民に知らしめるとともに、設置理念に沿った利用をひろく呼びかけ、活用のための具体案を示していただきたい。	4	男女平等・共同参画センター活用の具体策については、素案の当面の改善策に示したとおりですが、男女平等・共同参画センターが地域の核となって男女平等・共同参画を推進できるよう今後も努めてまいります。

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
20	議会	「施設運営の効率化」のために、会議室と研修室等を他施設との共有化をはかるのではなく、開かれた会議室、研修室につくりかえるべきである。他団体や所管間の交流を進めるのは、施設の共有化ではなく、区の工夫とやる気の問題である。施設共有化をめざす計画はやめること。	5	施設の効率的な利用の観点から共有化は有効な手段の一つであり、施設を共有する所管の関係団体との交流も図っていけると考えます。今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。

資料室について

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
21	個人	資料室の本については、利用されていない本は処分してもよく、スペースを有効活用するべきである。	2	専門資料以外の資料のうち図書館で活用可能なものについては、図書館に移管することとしています。
22	個人	資料室の見直しは、やむを得ないが、専門的な資料を充実しそこに行けば他にはない資料があることを十分宣伝して、利用者増を図るべきである。	2	専門資料については、今後の財政状況等を踏まえながら収集を継続していくこととしています。資料室や講座をはじめとするセンターの周知方法は、マスコミの利用や目黒区で実施する他の事業参加者へのチラシ配布等多角的に検討してまいります。
23	個人	素案では、資料室は専門資料の保管庫となりそうだ。男女平等共同参画に寄与してきた団体の識見が活かせるように、資料室を民間委託すれば良い。	3	資料室については、現在運営を民間に委託しているところですが、今後も効率的、効果的な委託方法等を検討してまいります。
24	個人	資料室はたくさんの大事な資料が保管されており、もっと多くの人に活用してもらいたい。センターを周知するためには、良い講座を開催しマスコミを利用する手立てが取り入れられるべき。また、目黒川沿いの壁面に、中目黒公園側から判るように垂れ幕を設置したらどうか。	4	資料室や講座をはじめとするセンターの周知方法は、マスコミの利用や目黒区で実施する他の事業参加者へのチラシ配布等多角的に検討してまいります。
25	個人	資料室の活用方法についてはすべて賛同する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
26	個人	資料室の見直しに関しては、専門の非常勤職員を配置することを要望する。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。
27	個人	今後、収集する専門資料を「女性に関する社会科学・医学分野等の資料」としているが、「男女平等や男女共同参画、女性の問題に関する社会科学・医学分野の資料」とした方がよい。	1	ご趣旨に沿って、資料室資料収集基準を踏まえた記載に素案を修正いたします。

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
28	団体	資料の活用方法について賛同する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
29	団体	資料室については、素案のように、男女平等・共同参画資料としてのまとまりを維持し、談話・交流コーナー、研修室・会議室、相談室のまとまりが望ましいという素案の内容を断固支持する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
30	団体	資料室は、遠藤元男先生からの贈呈書の古さも年月を感じる。今までと違う、もっと広く専門書として、宣伝して誰にも見えるようにしてほしい。取り扱うにしても公開する方法を考えることが必要である。	2	開設時に寄贈された本等、希少性のある本については、閲覧が可能であることをホームページ等で周知することとしています。
31	議会	1階社会福祉協議会ボランティアセンターを他所に移し、資料室をこの場所に移設すること。従って図書管理の全部と、施設管理の主事務を1階にて行うこと。1階における図書機能(貸出しを含む利用)を通じて区民への啓蒙を進めるとともに、複合施設に来館された方たちとの、相乗効果を発揮させること。	6	設置場所や運営方法は今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
32	議会	資料室の充実のため、蔵書の充実とともに、司書資格を持った職員を再び配置すること。また、相談に応じることができ、個人・団体間のコーディネーター機能を持った指導員の配置を行うこと。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。

センターの運営について

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
33	個人	これからのセンターの課題は、開かれたセンターのイメージを強くすることで、地域に出て行くことである。	2	地域からの要望に応じて職員が講師として出向くリクエスト講座や出張講座を行うこととしています。
34	個人	センターの運営については職員の専門性を高める、他部署との連絡調整を図るコーディネーターの育成など、センター機能の充実が求められる。	4	研修受講等を通じ、職員の専門性を高めてまいります。
35	個人	区内の様々な活動グループとの連携や人々が集えるような場の設定(1階ロビーの活用)、講座終了後のフォロー、そして何より必要なのは、女性問題の専門家である。	3	1階ロビーの活用や講座終了後のフォローにつきましては、事業を実施する中で、効果的な方法を模索していきます。また、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。
36	個人	センターには、閉ざされた暗い施設、入るまでにハードルが高く利用者・運営者の顔が見えない、ネガティブな掲示が多いといった印象がある。	4	今後、施設づくりや運営方法の両面で、親しみを感じられるような雰囲気づくりに努めてまいります。

通し 番号	意見 区分	意見・要望(要旨)	対応 区分	検討結果(対応策)
37	個人	センターを防災の拠点とし、女性用の防災用品を備蓄し災害時は女性の職員等から配布を受けられるような体制を作してほしい。	3	センターは、目黒区地域防災計画では補完避難所として位置づけられていますが、災害時におけるセンター独自の役割については、今後の検討課題とさせていただきます。
38	個人	過去13年間、外国人、特に女性に向かい合ってきたが、センターには彼女たちを支援する講座や資料など何もなかった。男女平等は日本人だけの問題ではなく、地域住民である外国人女性の問題でもある。障害者、外国人といった少数者に光が当てられなかったと思う。	4	センターの講座や相談事業については、外国籍のかたも利用しやすいよう、運営方法など工夫してまいります。
39	個人	談話・交流コーナーに保育室にも使える場を作してほしい。子育ての実践的な講座開催を考えるのであれば、そのあと、自主グループが活動できるように子ども連れで活動できる安全な場の提供を願う。	4	談話・交流コーナーのレイアウトの変更の際は、様々な利用者の声をお聴きし、親しみを感じられるような雰囲気作りに努めます。
40	個人	外国人には、日本語の習得だけでなく、易しく読める読み物が必要である。また、子どもたちには、母語絵本が必要である。外国人が使える本のコーナーがほしい。	4	資料室には収集方針に沿った選書基準があるため、資料室にご要望のコーナーを設置することは困難ですが、例えば、本の寄贈を受けて保育室に置くことなどについては検討してまいります。
41	個人	男女平等・共同参画センターのニックネームを募集してはどうか。	3	センターの周知方法等を検討していく中で、必要性を含めて検討してまいります。
42	個人	男女平等・共同参画を進めていくには、男女が相互に両性の特性を理解する力を育てることが大切である。そのためには、「生」と「性」の学習をセンターに根付かせるような講座を持つことが重要である。	4	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利)の理解促進は目黒区男女平等・共同参画推進計画でも取り上げており、今後も講座開催等を通じて啓発に努めてまいります。
43	個人	会議室・研修室の利用率を上げるにはA4三つ折サイズの会議室・研修室ご利用案内というチラシをつくり、区内のあらゆる施設の随所の目立つところに設置する、連続講座の企画をし、そこからの自主グループの誕生を促し、利用登録団体の拡大に努めるなどの方法が考えられる。	4	資料室や講座をはじめとするセンターの周知方法は、マスコミの利用や目黒区で実施する他の事業参加者へのチラシ配布等多角的に検討してまいります。
44	団体	専門性を高めるため 職員の一律的な異動基準の適用は適当ではない。他部署との係わり、指導ができるコーディネーターが必要である。	4	研修受講等を通じ、職員の専門性を高めてまいります。
45	団体	より効果的にセンターを運営していくためには、男女平等・共同参画施策を統括するコーディネーターの配置も検討してほしい。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
46	団体	レイアウト変更にあたっては、「目黒区男女平等・共同参画センター」の看板を目立つ場所に設置し、室内も温かい雰囲気を感じられる場所となるように希望する。	4	談話・交流コーナーのレイアウトの変更の際は、親しみを感じられるような雰囲気作りに努めます。
47	団体	青少年プラザとの連携は、行事の時ではなく、平時の連携が望まれる。連携によって双方が得るものは大きい。	2	青少年プラザを含め、関係所管と共同で事業を行い、講座を共催する等連携を強めることとしています。
48	団体	相談事業は男女平等社会を広げるには大事なところである。DV問題、子どものこと、高齢者問題、その関係の問題は、男女平等問題そのものである。一般の相談とは違う意識が必要である。	4	センターの相談事業はDVや離婚に関する相談等、女性問題を解決する上で大きな役割を果たしてきていると認識しています。今後も男女平等・共同参画や女性問題解決の視点から相談事業を運営してまいります。
49	議会	「中目黒スクエア館まつり」を、各団体が参加しやすいようセンター側(人権政策課)が音頭をとり開催することで、様々な効果を期待できるのである。多種多様な団体が利用・参画しているので、事務局として努力し、形ばかりでない館まつりを実施していただきたい。	4	ご意見にあるような中目黒スクエア全体での取り組みは重要なものと考えています。中目黒スクエア内の施設の管理担当者の集まりである館内連絡会議等で検討してまいります。
50	議会	中目黒スクエアを使うのであれば、1階ロビーの一部を男女平等・共同参画のためのオープンスペースにするなど、開かれたセンターにしていくことが必要である。	4	1階ロビーの効果的な活用方法については、中目黒スクエア内の施設の管理担当者の集まりである館内連絡会議等で検討してまいります。

施策の展開について

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
51	個人	固定的な性別役割分担意識を改善するには、更に意識啓発事業を推進する必要がある。その推進には教育委員会等と連携を密にし、出張講座の実施や小中学校向けの男女平等条例リーフレットの作成配布が必要である。	4	男女平等・共同参画の理念は、学校教育での児童・生徒に対する理解の推進が重要です。今後も教育委員会と連携し、啓発の推進を図ります。
52	個人	固定的な性別役割分担意識を改善するには、町会や住区住民会議との連携による地域社会の意識啓発が必要である。	2	地域団体・NPO・企業等の多様な団体との交流機会を積極的に創出し、連携・協力関係の構築に努めるとともに、これらの団体が男女平等・共同参画の視点に基づいた活動を広げていけるように支援することとしています。

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
53	個人	女性の就労、子育て支援と外国人女性支援を強化してはどうか。	4	男女平等・共同参画の推進には、女性の就労支援や子育て支援も含まれるものと考えていますが、ご意見の趣旨を踏まえ今後の事業運営の中で努力してまいります。
54	団体	積極的に「男女が共に同等に社会に参加するしくみ」を進める施策として、事業者等、多様な団体との関係構築があげられているが、目黒区としても全庁横断的な施策の推進体制の充実が必要なのではないか。	4	現在、男女平等・共同参画の関連部署で構成する人権・男女平等推進担当者会議がありますので、その場をさらに活かしながら、横断的な施策の推進に努めてまいります。
55	団体	教育委員会との連携により学校教育を通じて積極的に子ども・保護者への啓発活動を推進すべきである。	4	男女平等・共同参画の理念は、学校教育での児童・生徒に対する理解の推進が重要です。今後も教育委員会と連携し、啓発の推進を図ります。
56	団体	講座・講演会はいつも「男女平等とは」のキソを忘れずに、若い人たちやそれぞれの年の人たちを対象に住区センターなどを借りての講座なども開催するとよいのではないか。	2	再就業・子育て等、個々の区民の課題を解決することができる実践的な講座開催へと転換していくこととしていますが、当然男女平等・共同参画の理念等の普及にも努めてまいります。
57	議会	日本における男女平等は緒に就いたばかりだ。諸外国と比べても各分野での女性参画率は低く、すべての政策に通底する“あたりまえ”の思想になっていないのが現実だ。目黒区男女平等参画センターは、その理念を高く掲げ、決して後退すること無い政策を推し進めていくことが、先達たちへの現代に生きるわれわれの責務であると言える。	4	男女平等・共同参画の推進は区の基本方針であり、今後も推進していくべき重要な課題と認識しております。今後も、目黒区男女が平等に共同参画する社会づくり条例の基本理念を実現するため努力してまいります。
58	議会	区と関係女性団体などとの意見交換が不十分である。女性団体とよく意見交換をし、納得できる方針を打ち出すこと。	4	男女平等・共同参画を推進するうえで、関係女性団体などは区の重要な協働パートナーであると考えています。今後も協働して男女平等・共同参画を推進してまいります。

【参考】

目黒区男女平等・共同参画審議会意見

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
1	その他	素案が目黒区男女平等・共同参画センターの存続という結論を出したことを、高く評価する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
2	その他	センターは「拠点施設」として条例で位置づけられており、男女平等・共同参画に関心のある区民や団体の活動を促進するためには、物理的スペースの維持は必ず守ってほしい。	6	男女平等・共同参画に関心のある区民や団体の活動の場は必要であると考えます。設置場所や運営方法は今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。
3	その他	より効果的にセンターを運営していくためには、男女平等・共同参画施策を統括するコーディネーターの配置も検討してほしい。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。

目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会意見

通し番号	意見区分	意見・要望(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
4	その他	「目黒区男女平等・共同参画センターの見直しについて(素案)」に対して、基本的に賛成する。	2	素案の考え方に従って進めてまいります。
5	その他	目黒区男女平等・共同参画センターは、目黒区として絶対不可欠の施設であることを明記し、更なる男女平等・共同参画推進事業の充実を図っていくこと。	4	男女平等・共同参画が実現されていない現状では、その推進の核となるセンターは引き続き必要であると考えています。今後も男女平等・共同参画の推進に努めてまいります。
6	その他	センターを現在の場所で、独立した施設として維持し、運営を継続していくこと。また、会議室及び研修室の共有化については、あくまで施設の運営は、センターが主導権を持つこと。	6	センターの設置場所については、今後の区有施設見直しを踏まえ、検討してまいります。共有化後の運営方法もその中での検討になると考えています。
7	その他	資料の問い合わせや検索の対応をする専門職員(司書)の配置は絶対必要である。夜間は無理でも17時までは窓口対応の司書を配置してほしい。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。
8	その他	資料室の存在価値を確保し維持していくために、男女平等・共同参画に関する専門資料の収集は予算を確保して継続していくこと。	2	専門資料については、今後の財政状況等を踏まえながら収集を継続していくこととしています。
9	その他	新着図書の内容や紹介コーナーを1階に常設し、新着図書案内を住区センターなどに必ず設置すること。	4	新刊図書購入再開時には広く周知に努めてまいります。

通し 番号	意見 区分	意見・要望(要旨)	対応 区分	検討結果(対応策)
10	その他	区立図書館との貸出方式の一体化は、利用者にとっての利便性は認めるが、センター資料室の男女平等・共同参画資料としてのまとまりを維持していくために慎重に検討をしてほしい。	2	ご意見のとおり、センター資料室の男女平等・共同参画資料としてのまとまりを維持していくことが必要だと考え、図書館との貸出方式の一体化は将来的な検討課題であると考えています。
11	その他	男女平等・共同参画の専門のコーディネーターの活用を検討してほしい。	3	厳しい財政状況などから、専門職員の配置については、今後の研究課題とさせていただきます。
12	その他	センターに啓発パネルを常設し、外部イベント情報が得られるように常に情報収集に努めてほしい。	2	談話・交流コーナーにセンターと区民が共に情報発信する掲示スペースを設けることとしており、啓発や情報共有の有効な方法となるよう努めてまいります。
13	その他	センター運営委員会を担う人材掘り起しをしてほしい。	4	多くの区民が参加する実践的な講座開催等をしていく中で人材の発掘に努めます。